

至誠館大学

科目名	保育内容(表現Ⅱ)			コード	1318		
英語表記							
担当教員名	石川 正一			年度	平成28年度		
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態		授業形式	演習	履修形態	選択		
授業概要							
<p>保育目標を達成するために、乳幼児期の指導に必要な造形表現の発達過程や技法について習得させる。特に、子ども達の総合的な活動である遊びの中で、造形表現のもつ意味を理解させ、保育方法について学ばせる。</p> <p>また、保育士として発達過程に即して子どもを理解し、総合的に指導や援助が行えるように実践的な力を習得させる。</p>							
到達目標							
<p>幼児期の造形表現の発達及び教育的意義について理解し、指導計画を作成することができる。</p>							
授業計画							
第1回	オリエンテーション 授業概要について						
第2回	乳幼児期の造形表現について ・新生児～2歳児の描画を中心とした発達過程について						
第3回	" ・3歳～4歳の描画を中心とした発達過程について						
第4回	" ・5歳～6歳描画を中心とした発達過程について						
第5回	日本の造形教育変遷 ・近代から大正時代						
第6回	" ・昭和から現代まで						
第7回	表現と材料用具について ・平面表現で使われる材料用具						
第8回	" ・立体表現で使われる材料用具						
第9回	造形表現と保育環境 ・物的環境について						
第10回	" ・人的環境について						
第11回	指導計画と評価 ・表現教育の指導計画について						
第12回	" ・指導計画の作成						
第13回	" ・保育の展開と自己評価						
第14回	障がい児と造形表現 ・指導実践ビデオを鑑賞し討議						
第15回	まとめ						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
<p>ここでは保育内容「表現」の造形について理解を深めることができたか。特に乳幼児期の造形の発達について理解できたか。また、表現と環境について自らの意見を持つことができたかを評価します。</p>			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			0	20	30	50	0
授業外学習			テキスト、教材				
毎回水彩画の課題を課す			平田智久 小林紀子 砂上史子 編『保育内容「表現」』ミネルヴァ書房				
参考書			受講生へのメッセージ				
<p>・V・ローウェンフェルド／竹内清・堀之内敏・武井勝雄訳『美術による人間形成』聡明書房</p> <p>・ハーバート・リード／植村鷹千代・水沢孝策『芸術による人間形成』美術出版社1953</p>			必ずテキストを購入してください。				
キーワード							
保育内容 表現 造形							